

# 生活指導だより

平成24年7月20日

練馬区立早宮小学校

生活指導担当 菅野 泰弘

久しぶりの40日以上のお休みが始まります。  
暑い日が続きますので、お休みの期間を子ども大人も健康で過ごせるよう、熱中症対策を十分に行ってください。



お休みを安全に過ごすためのことについてお伝えします。  
ぜひ、ご家庭の身近なこととして受け止めて、お子さんと共に話し合しましょう。

## 不審者被害から子供たちを守るために

7月初旬から、子供たちの下校時の見回りを続けています。通学路や地域を巡回することで、人気の少ない道や、危険に思える場所があることをあらためて実感しています。  
お休みは、学校がある時期よりも、子供たちが子供たちだけで過ごす機会や時間が多くなることでしょう。地域で友達と一緒に遊ぶ子供たちの姿は、健やかでとてもほほえましいものです。また、心の成長としても大切なかわりです。  
だからこそ、場所や時間、遊び方について、きちんと家庭での約束を確かめるようにしてください。そして、できる限り、保護者が多くの子供たちに声をかけ、「地域のつながり」の中で子供たちを見守っていくようにしましょう。子供は地域の宝です。

## 犯罪被害・問題行動の引き金は...携帯電話とインターネット

先日、練馬警察のスクールサポーターの方々と、子供たちの安全な生活について情報交換をする場がありました。これまでも言われていることですが、あらためて警察の方々が強調されたのが、携帯電話やインターネットの危険性でした。

子供たちが携帯電話やスマートフォンをもつ理由は、保護者との連絡がとりやすく「安全」に過ごせるからでしょう。また、インターネットを利用するのは、情報を入手し「有効」に活用できるからでしょう。そうした便利なツールが、むしろ子供たちを安全でないものとし、有効ではない使われ方をすることが非常に多くあるようです。

ひとつの事例に、練馬区内の13歳の女子中学生が、携帯電話から自分の画像や動画を投稿し、性被害につながったというものがありました。「13歳」という年齢は、決して早宮小学校の子供たちから遠くない現実です。



子供たちの友達関係・信頼関係を脅かすのもまた、本来、安全で有効なツールであるはずの携帯電話やインターネットの危険な側面です。嫌なうわさを広めたり、ときには事実無根の誹謗・中傷をしたり、悪質にもかかわらず、簡単にできてしまうことが問題です。このことは、子供だけでなく、大人にも通ずるところがあります。

本当に、「我が家は、ブロックをかけているから大丈夫。」なのでしょうか。

子供たちは、網の目をくぐるのが上手です。安全な使用環境だとしても、子供たちの自由にするのはなく、大人が日頃から目を届かせておくことが大切です。